

全学就業力育成実行プロジェクトチーム

リーダー 柴 孝夫 様

全学就業力育成実行プロジェクトチーム

第2部会チーフ 耳野健二

平成22年度 第2部会 活動報告書

次のとおり、部会活動を報告いたします。

1. 部会テーマ・概要

全教職員の進路支援参画

2. 達成目標（完成年度まで）

年度末	達成目標
平成22年度	全教職員の進路支援参画のため、その取組みについて、具体的なアクションプラン策定に向けた検討。
平成23年度	進路支援参画理解の土壌と基盤づくりに向けたアクションプランの具体的実行とゼミ等におけるミニガイダンス、就職ガイダンス等において、教職員の参画率の向上を図る。⇒40%
平成24年度	ゼミ等におけるミニガイダンス、就職ガイダンス等において、教職員の参画率の向上を図る。⇒60%
平成25年度	ゼミ等におけるミニガイダンス、就職ガイダンス等において、教職員の参画率の向上を図る。⇒80%
平成26年度 《最終》	ゼミ等におけるミニガイダンス、就職ガイダンス等において、教職員の参画率100%とする。

3. 部会メンバー

部会チーフ：耳野 健二（法学部教授）

部会員：岡田 英彦（コンピュータ理工学部教授）、中野 智世（経営学部准教授）

オブザーバー：佐々木利廣（進路センター長）、杉森紀之（進路センター課長）

事務部署：川合 徹（進路センター事務部長）

4. 平成22年度（当年度）活動履歴

日付・時間・場所・参加者	活動内容
平成23年1月25日 18:30～20:10 進路センター長室 耳野・岡田・中野・佐々木・川合・杉森	平成23年度以降の具体的な取組みについてブレイン・ストーミング
平成23年2月8日 12:30～14:10 進路センター長室 耳野・岡田・中野・佐々木・川合・杉森	前回の議論を叩き台としつつ、引き続き具体的な取組みについてブレイン・ストーミング
平成23年2月23日 16:00～18:00 進路センター長室 耳野・岡田・中野・佐々木・川合	取組の具体的な進め方について。とりわけ進路センター運営委員会の役割の見直しを中心に意見交換。

5. 平成 23 年度（次年度）活動計画

以下の 5 分野につき、具体的な取組みの企画を検討する。

(1) 進路センター運営委員会の役割の見直し

- ・進路センター運営委員会の役割を見直し、教員が積極的に進路支援に取り組むことができるよう様々な企画や環境整備を実施する。
- ・平成 24 年度より教員が進路支援に参画する体制を強化することとする。平成 23 年度には、そのための準備作業も実施する。
- ・進路センター運営委員会を通じて、以下の (2) ～ (5) の施策を具体的に実施する。

(2) ミニガイダンスの推進

- ・ゼミ等におけるミニガイダンスの実施率を上昇させる。とりわけ、学部毎に実施率に差があるので、これをできるだけ高いレベルで均等に実施できるようにする。具体的な施策および数値目標は未定。

(3) 進路支援 F D の推進

- ・教員の進路への関心を喚起するため、各種の研修会を実施する。①就職活動に関する基本知識や現状についての説明会、②企業の採用担当者による講演会、③企業と大学の集いへの参加の促進、④学内外の進路支援の取組の事例報告会の開催、について具体化を進める。

(4) 学生トータル情報システムの構築

- ・学生の入試に関するデータ、教学センターの「学びのポートフォリオ」、進路センターの進路情報を相互に連結し、学生に関わるデータをトータルに管理するシステムを構築する。平成 23 年度はそのための予備的な検討を実施する。状況に応じてプロジェクトチームを立ち上げ、推進する。

(5) 教職員によるクラブの部長・副部長制度の構築

- ・クラブに関し、現行の顧問・相談役の制度を見直し、部長・副部長を新設し、原則部長職は教員、副部長職は職員とし、課外活動に係る学生の修学・生活・進路（就職）面での支援を行う。平成 23 年度はそのための具体策を検討する。

6. 現状における課題

- ・就業力育成支援に係る「理解」への教職員の温度差
- ・参画に向け、またその理解へ向けての基盤づくりの具体的方策
- ・F D / S D、ゼミ活性化等の他部会との連携

以上